



しいば 議会だより

第69号

平成25年2月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL (0982) 67-3209
村内無料電話7-67-0091



とびがち大会

12月定例会(2)

一般質問(3~5)

常任委員会等調査 …(6・7)

議会の動き(8)

平成24年12月定例会

平成24年度
一般会計補正予算は、**322,677**千円追加
総額 50億83,393千円

平成24年度 特別会計補正予算額

会計名称	今回補正額(千円)	補正後(千円)
国民健康保険特別会計	13,650	481,793
電気事業特別会計	377	34,800
介護保険特別会計	13,016	374,140
後期高齢者医療特別会計	414	86,508
ケーブルネットワーク事業特別会計	2,965	67,587

12月定例会が13日開会された。

報告 1件 工事請負契約の変更について

同意 1件 教育委員会委員の任命について
黒木孝文さん再任(小崎地区)
任期平成24年12月22日~平成28年12月21日までの4年間

承認 1件 一般会計補正予算(国政選挙関係など)

議案 8件 補正予算、合併による市町村事務組合の規約の変更など

議員発議による決議1件

オスプレイの普天間基地配備、宮崎県内低空飛行訓練に反対する決議
(安全性を疑問視された米軍海兵隊の垂直離着陸輸送機オスプレイが沖縄県普天間基地へ配備されたこと、同機の訓練が本村上空も空域になっていることから反対する決議を採択)

1月臨時会

平成24年度
一般会計補正予算は、**82,554**千円追加
総額 51億65,947千円

1月臨時会が11日開会された。

椎葉中学校校舎改修工事等が審議された。

平成24年度電気事業特別会計補正予算は、20,000千円を追加
村営間柏原発電所の設計委託業務が審議された。

村長に聞く!

～ 一般質問 ～



岡村正司 議員

質問1

相撲場建設に伴った 成果と将来展望に ついて

問

相撲場の落成式が盛大に開催され、村内外から多数の観客者が来場し広くPRができた。今回の相撲場建設に伴い行われたイベント事業で得た成果と、これからの計画、将来に向けての展望と、村長より毎年九州場所に高齢者の方を対象に、応援を送りたいと話があったが、具体的な考えを伺う。

答 村長

土俵開きイベントは、平家さくらの森づくり委員会の皆さん方を中心とした相撲土俵開き実行委員会が中心となり、貴乃花部屋との日程調整からイベントの企画立案を行い開催した。

子供たちとの触れ合い相撲や、椎葉村の特産品を盛り込んだ貴乃花部屋との共同ちゃんこ鍋の振る舞い、高校生と力士とのプロアマ交流戦などが行われ、村内外から、600名の相撲ファンの皆さん方にお越しをいただき、盛大に開催され、新たな観光地づくりの第一歩として、村内外に広くPRできた。

貴乃花部屋の合宿に毎年利用することや、学生相撲の合宿や子供相撲大会の誘致について取り組んでいく。

今後、平家さくらの森づくり委員会のメンバーを中心に、新たに土俵運営委員会を組織し、運営を行うこととなっている。さらに貴乃花部屋との交流を深めていき、来年度本村の高齢者の皆さん方の11月九州場所見学を計画したい。

質問2

合同金婚式の開催について

問

夫婦でともに50年間生活してきた人の健康とご長寿をお祝いする意味で、また第5次長期総合計画の中で、夢。生きがい。幸せ。かて～りの里椎葉を将来像と掲げてあるように、金婚式のお祝いをすることがあってもよいのではないかと、村長の考えを伺う。

答

村長

高齢者支援は、椎葉村老人クラブ連合会からの要望で、これまで5年に1回の開催であった福祉まつりを、隔年で開催することで計画している。その際の敬老行事に組み入れるとか、対象となる夫婦の把握の方法等具体的に検討し、関係各課で協議を進めていく。





河口吉弘 議員

質問1 障害高齢者の居場所確認システムの構築について

問 本村は、認知症高齢者に対して、社会福祉協議会、各民生委員さん、家族や地域サポーターによる見守り活動

の取り組みがされているが、さらにその取り組みに加えて、GPSを活用した「徘徊高齢者位置情報検索システム」を早急に構築し、徘徊行動を伴う認知症高齢者の位置情報検索による一刻も早い居場所の確認による保護を行い、当該高齢者の生命の確保と家族、地域の安心・安全を確立すべきだと考えるが、村長の考えを伺う。

答 村長 名刺サイズの機器本体を対象の方が持つて、有事の際はGPS検索するものであるが、高齢者は大切なものは家に置いておく体質があり、対象となる本人が機器を持たないなど、認知症高齢者の理解を求めることが大変困難であるといった問題点がある。システム導入については、機器の選定や利用者との契約の内容など、詳細なところを検討したい。

認知症の方の所在がわからなくなった場合、家庭が遠慮することなく、地域や消防団への応援を求めることができるネットワークづくりや、私ども職員初め地域の方々にも、認知症について理解を深めなければならない。社会福祉協議会に委託をして実施している、認知症サポーター養成講座を多くの方々に受講していただき、家庭の支援ができれば、少しでも長く住みなれた場所で暮らすことにつながると考える。

質問2 村政の課題と平成25年度予算編成方針について

問1 少子高齢化の進行による集落対策について、議会に設置された集落支援調査特別委員会も、これからしっかり取り組んでいかなければならないが、この課題に対して、25年度の取り組みと予算の編成方針について尋ねる。

答 村長 愛郷プロジェクトとして長期総合計画で、重点的に取り組んでいき、一歩踏み込んで議論を重

ね施策の検討を行っている。

支援できることを整理しながら少しずつ体制整備を行い、雇用対策等も含め、全庁的に集落対策に取り組みたい。平成25年度は、飲料水の問題や道路草刈りの奉仕作業の支援を行うために、MAPの作成などの基準づくりを行いたい。

問2 高齢者福祉の一層の充実に向けた取り組みについて、他の自治体でもいろいろな高齢者を敬う行事が行われているが、本村においても取り組みを行うべきだと考えるが、村長の見解を尋ねる。

また、特別養護老人ホーム平寿園の移転・増床計画について、村長から直接村民に対して、その計画について話をするようお願いしたい。

答 村長 福祉まつりの各年開催、老人クラブの活動補助金の見直し、村単独事業で実施している福祉サービス事業の内容の見直しなど、福祉保健課及び社会福祉協会において進めている。

また、庁内グループ長で構成した長期総合計画ワーキング会議で、福祉の向上を目指し、村民が元気になる生きがいづくりにつながるような、新たな提案された事業についても予算化し、具体的な実現に向けて取り組んでいく。

特別養護老人ホーム平寿園の移転・増床については、地権者との用地買収を進め、用地造成に関する測量設計委託業務の発注を行い、成果品の引き渡しは24年度中には終了したい。また、土地開発行為や林地開発等に関し、県の関係する部署との協議を進めている。議会特別委員会、公民館長会等を通じ、随時経過を報告し、整備内容が具体化してから、村民にも周知を図っていく。

問3 教育長は、平成24年6月議会で奨学資金返還免除制度の見直しについて、広く村民の意見を聞いて、必要があれば見直すとのことであったが、その総合的な検証結果が25年度予算にどのように反映されるのか、取り組み状況とその方向について尋ねる。

答 教育長 幅広く村民の意見を聞くため、一般抽出世帯、各公民館、各PTA、各婦人会、青年団、各社会教育委員などを対象にアンケート調査を実施している。この結果を踏まえ、制度のあり方を再考し、必要な予算措置について25年度の予算要求の中